

2020年3月11日

D-アミノ酸学会御中

日本アミノ酸学会
会長 深柄 和彦

第6回産官学連携シンポジウム
実行委員長 森下 幸治

日本アミノ酸学会第6回産官学連携シンポジウムご協賛および広報のお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本学会の活動・運営につきましてご高配いただき、厚く御礼申し上げます。

この度日本アミノ酸学会では、別紙のように第6回産官学連携シンポジウムを開催する運びとなりました。今回は、「アミノ酸科学リカレントと次世代研究への扉」と題し、アミノ酸研究のこれまでの蓄積を踏まえ、その広がりや多様性、面白さを伝えつつ、アミノ酸研究のさらなる発展を議論したいと考えております。本シンポジウムの趣旨をご理解いただき、ご協賛を下さいますと幸甚に存じます。なお、貴会には本協賛による経費上のご負担は一切おかけしません。

また、別紙シンポジウム開催情報を貴学会誌・ホームページ等にて掲載頂きたく、ご検討の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

以上ご多忙とは存じますが、ご協賛ならびに情報掲載の諾否につきまして、別紙連絡先宛にご連絡いただきますようお願いいたします。

敬具

第6回 JSAAS 産官学連携シンポジウム
アミノ酸科学リカレントと次世代研究への扉

日時：2020年6月1日（月）13:00～19:00

会場：東京大学弥生講堂一条ホール/セイホクギャラリー

（〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1）

13:00～ 開会あいさつ

セッション I. タンパク質/アミノ酸栄養

13:10～ 1. （仮題）日本人の食事摂取基準（2020年版）

— 木戸康博（金沢学院大）

13:45～ 2. 地域中高年者のたんぱく質・アミノ酸栄養摂取：老化に関する長期縦断疫学研究

— 大塚礼（国立長寿医療研究センター）

セッション II. アミノ酸標準

14:20～ 1. （仮題）アミノ酸学会の経緯

— 門脇基二（新潟工科大）

14:35～ 2. アミノ酸分析の為の SI トレサブルな標準物質の開発と上市

— 早川昌子（富士フイルム和光純薬株式会社）

15:10～ 休憩

セッション III. 腸内細菌とアミノ酸代謝

15:25～ 1. （仮題）食事由来アミノ酸と腸内細菌叢

— 福田真嗣（株式会社メタジェン）

16:00～ 2. アミノ酸のキラリティが調節する生理機能と病態生理

— 笹部潤平（慶応義塾大）

16:45～ ポスターセッション

17:45～ ミキサー（@弥生講堂セイホクギャラリー）

日本アミノ酸学会 <http://www.asas.or.jp/jsaas/>

参加費：一般 3000 円、学生無料

問合せ先：シンポジウム実行委員長 森下幸治

〒305-0841

つくば市御幸が丘 2 協和発酵バイオ株式会社 R&I センターつくば

TEL：029-856-4255 FAX：029-856-4288

E-mail：jsaas_sankangaku2020@kyowa-kirin.co.jp